

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和3年6月29日(火)16時00分～17時15分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、北條技術研究調査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、  
加藤原子力規制専門員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

経営企画部 次長

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー

再処理廃止措置技術開発センター 廃止措置推進室長 他12名

#### 5. 要旨

○原子力機構から、東海再処理施設の廃止措置に係る検討状況について、配付資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料2について)

- ・結合装置と熔融炉のフランジ間に取り付けるシムスペーサの許認可上の取扱いの整理に当たっては、安全機能への影響と運転管理上の影響を区別して説明すること。

(資料4について)

- ・LWTFの運転開始が遅れた場合の低放射性廃液の貯蔵容量の満杯時期の見込みについて、グラフで図示すること。また、低放射性廃液の貯蔵施設に係る系統図を示すこと。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

#### 6. 配付資料

資料1：ガラス固化技術開発施設(TVF)における固化処理状況について

資料2：結合装置の交換におけるシムスペーサ取付けに係る許認可上の扱いについて

資料3：工程洗浄の基本的な考え方

資料4：低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)の今後の進め方

資料5：東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール(案)